

群弓連だより

124号

令和6年9月

群馬県弓道連盟

発行人 飯塚勝亮

第二回【先生、お話聞かせて！】

第2回目は太田支部・中橋龍一錬士五段に当企画をご依頼させていただきました。中橋先生は大学在学中に称号を取得され、現在県内で一番若い称号者「ミレニアム錬士」でいらっしゃいます。今回は強化部の練習にお邪魔してお話をお伺いしてきました。

【広報】今日はよろしくお願いたします。
中橋先生はご家族で弓道をやられていますが、
どんな感じなのでしょうか？

【中橋先生】土曜のジュニア強化練習会が終わった後、母（太田支部・中橋紀子錬士六段）が自身の稽古をしていて。その時に僕と弟が稽古に行くから一緒に稽古をすることも結構あります。弓道について話すこともあります、3人とも全然方向性が違うので…。弓道の感覚が合わないこともあるから結構バチバチする時もあります。小5から弓道を始めて、中学までは大人の方と一緒に太田道場で稽古をしていました。高校でも弓道部に所属したのですが、すごい同級生がいて。このままでは上には行けないなって感じてから競技性や中てることに興味が出てきました。その頃から母とはかなり方向や感覚が違ってきた気がします。体配とか動作も大事にしつつ、プラスで勝つためにはどうすべきかをかなり強く意識するようになりました。

【広報】「勝つ」を意識している中でなぜ称号を取ろうと思ったのでしょうか？

【中橋先生】大学3年の時にこれからどういう弓道をしていくかを考えるミーティングがあって、そこで「自分は射型も的の中もどっちも持った選手になりたい」と話しました。当時は五段になった後だったのですが、大学のコーチが受審を否定しない方だったし、次受けるのは錬士だったから自然と受審を決めていました。国スポの射も審査の射も全部僕にとったら同じで、的の中か射型かどちらかかだけじゃなくていいんじゃないかって。両方求めることは2倍苦しいことだと思うけど、欲張りなんです。周りの先生方に色々教えていただいて、称号を取ることができました。



太田・中橋龍一先生

目次

【第二回 先生、お話聞かせて！】…p1、p2 国スポ本大会への意気込み…p3
お知らせ …p3

【広報】 社会人になってからなにか変わりましたか？

【中橋先生】 変わったのは時間です。やはり大学時代が一番稽古の時間が取れていました。1日中弓道、ということも普通にありましたし、かなり数も引いていました。社会人になってからも頑張って時間を取るようになっていて最低1日30本は引くようになっていました。最近は週4・5回稽古をしています。「主成分：弓道」だからほかに趣味はなくて…。たまに友達と対戦ゲームをやったりするくらいなんです。

【広報】 称号者になってから大変なこと、悩みなどはありますか？

【中橋先生】 今のところ仕事を任されていることもないので、役員の面では大変なことではないです。指導者としては指導のときにすんなり色々出てこなくて。教本通りの教え方が出来てないかもとたまに思うてしまうことがあります。

【広報】 ご指導する際に気を付けていることはありますか？

【中橋先生】 指導をする際にはまず悩みを聞くようにしています。その悩みをメインに見ながらその反対側に原因があることも多いので、結構反対側を見たりしています。悩みと本当の原因を一緒に考えてあげて。最近は原因が分かるようになってきたので、その原因を直してあげると結構悩みが解決することが多いと思っています。

【広報】 称号者になってからなにか思うことはありますか？

【中橋先生】 称号を取ってすぐは実感がなかったですが、今年初めて選手権予選に出たときに的中も出なかったけど「なんか称号をいただいた者として相応しいのかな…」と。去年も中が出なかった時に自分自身で「錬士っていうほど（の射）でもないんだらうな」と思っていました。あまり称号者に見られないので称号者ということにはあまり重さを感じてはいませんし、実際「中橋先生」って呼ばれることもあんまりないんです。でも、「先生」って呼ばれると距離感を感じてしまうし、なんだかムズムズしちゃいます。そもそも母が「中橋先生」ですし。

【広報】 では、「龍一先生」とお呼びすればいいですか？

【中橋先生】 そう呼んでくれる方もいますし、その方が嬉しいですね。

【広報】 龍一先生、今回はありがとうございました。



第78回国民スポーツ大会開催!!

※今年度から国民体育大会は国民スポーツ大会と名称変更になりました。令和6年度国民スポーツ大会が10月5日から佐賀県にて開催されます。今回成年男子の部にて参加される監督・選手のみなさんに本大会に向けての意気込みをお聞きしてきました。



国スポ本大会への意気込み

◆監督:大島 昭強化部長

昨年に引き続き出場となりましたが、昨年よりレベルアップ出来ているなど感じています。今年は非常にバランスの良いチームでチームとしての完成度も上がってきていてよく仕上がってきていると思います。現在、本番に向けて調整していますが、普段の力を発揮できれば予選突破も難しいものではないチームです。万全な体制で大会に望めるよう、選手に不要なストレスをかけない様、サポートするのが監督の使命と感じておりますので皆様もご期待ください。

◇中橋 龍一選手

昨年も出場させていただきましたが、悔しい思いもしましたので、今年はメンバーも入れ替わり昨年とはまた違った新チームになり、後ろのお二人が引っ張っていただくので精神的にとっても助けられました。けれどそれにおんぶに抱っこではなく、自分自身の役割として一本目から自分らしい射を出して後に繋げられるように頑張りたいです。関ブロから全く予選敗退する気がしないチームですので、本大会に行くだけでなく、優勝目指していますので応援よろしく願いいたします。

◇伊藤 悠志選手

群馬県の代表としてこの3名で国スポの舞台に立てることを誇りに思います。これまで支えてくださったメンバーや監督、役員の方々に感謝し、関東ブロック予選よりも良い成績を出して入賞を目指したいと思います。

◇錦 拓弥選手

なんとかつかめた佐賀の切符なので、チャレンジャー精神で臨み、群馬は若いチームで勢いもとてもあるので波に乗ってピークを本大会へ持っていけるように頑張っていきたい。群馬県の賞状を持って帰れるように頑張りますので応援よろしく願いいたします。

【広報部】

国民スポーツ大会・弓道は

10月5日(土)～8日(火)

の日程で開催されます。

皆様、応援をよろしく願いいたします。



お知らせ

広報部では各支部の先生方に貴重なお話をお伺いする活動を組み込んで活動を行う予定です。お声掛けさせていただいた先生方、いろいろなお話をお聞かせください。なお、自薦他薦を問いませんので広報部までご連絡いただけますと幸いです。

連絡先：koho01@gunkyuren.com

広報部会：齊藤昌之、高木正博、稲葉愛、長岡麻子